

つぎのミライは、
あなたの街から
はじまる。

News Release

NTT東日本グループ

2024年2月21日
東日本電信電話株式会社
北海道事業部

北海道エアポートと新千歳空港でオープンローミングの実証実験を開始 ～国内空港初！急増する観光客のニーズに対応し、安全・安心な公衆無線LANを提供～

東日本電信電話株式会社 北海道事業部(執行役員 北海道事業部長:島津 泰、以下「NTT東日本」とスシコシステムズ合同会社(東京本社:東京都港区赤坂、代表執行役員社長:濱田義之、以下「スシコ」)は、協業にて北海道エアポート株式会社(本社:北海道千歳市、代表取締役社長:蒲生 猛、以下「北海道エアポート」)の新千歳空港国内線ターミナルビルでオープンローミング(OpenRoaming)[※]の実証実験を開始します。

※オープンローミング(OpenRoaming)とは: 国際的なWi-Fi相互接続基盤のことで、ユーザーは、パスワードを一度設定するだけで、世界中のオープンローミング対応のWi-Fiスポットに高い安全性を確保しながら、自動接続することができる仕組みです。

1.背景

現在、北海道では、インバウンドが増加しており、特にスキーシーズンにおける豪州からの観光客が急増しています。ニセコエリアのスキー場は、98%が海外からの観光客が占めています。

豪州をはじめ米国、EUなどの一部の国々では、オープンローミングが広く普及しており、一般化していますが、日本を含むアジア地域の普及は、十分とはいえる状況ではありません。

北海道の空の玄関である新千歳空港国内線ターミナルを所有する北海道エアポートは、日頃から空港内でのサービス向上に取り組んでおり、今回、豪州観光客の高いニーズであるオープンローミングに対応するため、NTT東日本・スシコとともに安全・安心なオープンローミングの実証実験を実施します。

2.スケジュール

2月初旬に着工、2月中旬から開始し、約2カ月間実施します。



新千歳空港の全景